

広島-台北線就航 20 周年記念セレモニーで 世羅高等学校と^{へいとう}屏東県立大同高級中学（台湾）の生徒が 合同で制作した動画が披露されます！

チャイナエアライン広島-台北線就航 20 周年に当たり、世羅高等学校と姉妹校である屏東県立大同高級中学の生徒が動画を共同制作しました。

この企画は、広島-台北線の就航事業者であるチャイナエアラインの呼びかけにより実現したもので、広島ホームテレビの協力を得て動画が制作されました。

動画の中では、両校の生徒が自分や社会の未来について語るとともに、共通の文化である書道の共同作品を作成する過程をまとめており、動画制作を通じ、両校の絆をさらに深めることができました。

動画は、6月2日（日）に広島空港で行われる広島-台北線就航 20 周年記念出発式で披露される予定です。

○就航 20 周年記念出発式の概要

1 日 時 令和6年6月2日（日）7時50分～8時30分（予定）

2 場 所 広島空港 2F 出発ロビー（三原市本郷町善入寺 64-31）

3 動画の内容

両校の生徒が自分や社会の未来について語るとともに、両校の生徒が書道の作品を作成していく過程が映像にまとめられています。



4 その他

世羅高等学校と屏東県立大同高級中学は、平成14年度に姉妹校交流協定を締結し、交流を続けています。本年1月にはコロナ禍をはさんで5年ぶりに世羅高等学校の生徒が修学旅行で大同高級中学を訪問し、生徒同士の交流を行いました。